

エチオピア・アジスアベバ フィスチュラホスピタル 出張報告会のご案内

火をたく薪を家や市場に運ぶのも少女(女性)の役目。
成長期に加重の負担がかかり、栄養失調とあいまって発育不良に街道で、バスの中から撮影。

日時：2006年 3月 25日 土曜日 午前 10時半 - 12時 場所
青山学院大学 向かい 国連大学 脇 青山ウイメンズプラザ 二階 第二会議室 費用
無料。一般公開報告者
中山道子 (フィスチュラ代表)



病院創設者、ハムリ医師 (左) 病院新 CEO ベネット氏 と看護助手たち
看護助手は、元患者にトレーニングを施し、採用することで経済的自活の道を提供。

報告者から一言：

産科フィスチュラというのは、お産のときに、赤ちゃんの頭がつかえて難産になることから生じる後遺障害です。赤ちゃんは、産道につかえて死んでしまい、お母さんは、産道の細胞が壊疽してしまうために、大腸や尿道との間が筒付けに。尿や便の垂れ流しが一生続くこととなります。先進国日本では撲滅したのに、医療へのアクセスがないエチオピアのような国では、深刻な問題になっています。アジスアベバフィスチュラホスピタルは、フィスチュラ問題でグローバルリーダーシップを発揮している非営利の治療病院です。ぜひ、この機会に、産科フィスチュラについて、一緒に考えていただければ幸いです。

当日、ご希望の方は、当団体ご提供のフィスチュラ問題資料集がお買い求めになれます(冊 1050円)。多くの方に気軽にご来訪いただくために、費用は無料ですが、会場費などの経費がありますので、「カンパ」、「寄付」を歓迎します(当日領収書発行可)。

昼食会のご案内：当日、12時までの報告会の後、ご参加者様と一緒に昼食会を催したいと思っておりますので、引き続き、ご参加ください。場所は、センター近隣、費用は、自己負担で2,000円以下のファミリーレストランのようなお店を考えています。

